

一 中学生徒の最善最高の自覚と実践 NO5(R5.8.29)

○校長より 『二学期のスタートにあたって』

いよいよ二学期がスタートしました。この夏休み、大きな事故等がなく「みんなの命が守られた」ことが何よりでした。始業式では、「やらされてイヤイヤするのではなく、自分で考えて工夫しながらいろんなことに取り組んでいこう」という話しをしました。この夏、甲子園を沸かせ優勝した慶応高校野球部は「エンジョイベースボール」を掲げています。そのために「自分で考える力(自主性)」を大切にして、監督の指示をただ実行するだけではなく自分たちで考えプレーしているそうです。自分たちで考えるから工夫がうまれ、工夫しながら取り組むので自分たちの野球となる。だから野球を楽しむ(エンジョイする)ことができる。学校生活・日常生活も同じです。先生・親から言われるからしなくちゃということでは、イヤイヤすることになってしまいます。イヤイヤしても自分の力にはなりにくいものです。家庭学習一つとってみても、「しなくちゃいけないからノート1ページ埋めて(書いて)出す」では力がつきにくく、「(どうしたら自分の力がつかか考えて)自分のために、今日はこれをこんな風にやってみよう」となると力もつくし、きつくもないと思います。二学期にはいろんな行事もあります。やらされるのではなく、自分で考えチャレンジしていく二学期にし学校生活をエンジョイ(楽しんで)ほしいと思います。二学期も「みんなが安心して笑顔で過ごせる学校」を目指し取り組んで参りますので、保護者・地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

☆最善

～求めよう！勝ちを～



☆最高

～翔けよう！現在を～



☆自覚

～咲かせよう！笑顔を～



☆実践

『地域に感謝！地域清掃ボランティア！！』

